

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はっぴいチャイルド（放課後等ディサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達特性に応じて療育内容を設定している。	発達に応じて10段階の課題を準備、使用している。 段階によっては半期ごとに課題の入れ替えをしている。	定期的に課題の精査・見直しをする。
2	ソーシャルスキルトレーニングに力を入れた支援をしている	聞くこと、伝えることのコミュニケーションで必要となる日常生活で基本的な語彙の習得など個に応じて支援している	指導員のスキルアップを図る 所内研修の実施
3	支援計画作成や支援のPDCAサイクルに前職員が参加している	利用者の支援計画を確認しながら対応できるようにしてある。所内モニタリング、支援会議で情報を共有している	指導員のスキルアップを図る

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎の利用条件（距離）が限られている。	遠距離の送迎に時間が取られ療育時間が十分に確保できなくなることは避けたい。	現在の送迎範囲から1～2キロ拡げられるか検討する。
2	体験活動の機会が少ない。	利用者の年齢差、特性等で活動内容が限られる。敷地内の戸外活動のスペースが狭い。	活動内容を更に検討する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					回収数	
はっぴいチャイルド（放課後等デイサービス）		令和8年3月6日					19	19
		利用児童数					19	19
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		環境・体制整備	1	17	2			
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1	1		子供1人1人に目が届く配置、そして先生同士が連携されているので安心です。 放デイは問題ないのかもしてないが、日中一時の職員が1人のため利用を断られた。	日中一時の件でご迷惑をおかけしました。日中一時事業は1人の職員が見守ることになっており、増員の予定はございません。ご了承下さい。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19				活動のお部屋、勉強するお部屋など、しっかり区別されているためとても分かりやすいです。	活動する際の切替、集中しやすい環境設定に配慮し構造化しております。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19						
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18		1		とても助かっております。細部まで理解して下さり子供に合った支援をして下さいます。 こどもの特性と施設のつくりが合わないため支援に限界があると言われてしまう。	ご指摘いただきありがとうございます。体を動かしたいにもかかわらず園庭がない事や公園あそびがないなどご希望に添えない事もございます。ご了承下さい。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1			子供からも、保護者からも聞き取りして下さい、それを元に先生方の意見を取り入れ支援計画を作成して下さい。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1			作成後にきちんと説明して下さるので、とても分かりやすいです。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1			活動内容に偏りがある。『動』の活動が少ない。	ご指摘ありがとうございます。 室内でのサーキット運動などは実施していますが、お子さんが満足するほどの大きな動きは安全面を考慮して実施できません。ご了承ください。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	5	8		当事業所では、そのような機会を設けておりません。ご了承ください。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16			3	ペアプロ参加させていただきました。家庭での子供との接し方として、大変勉強になりました。ありがとうございます。	ご参加いただきありがとうございました。 今後も研修などの情報提供させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	17	1	1		お迎え時、連絡帳を活用し子供の状況を話す事、療育中の様子など聞くことができています 特性があるから通所しているが、その特性が強いと理解してもらおうが難しい。	ご指摘いただきありがとうございます。保護者の方と発達の状況を共通理解が図れるよう努力してまいります。特性が強すぎる場合は是非主治医にもご助言頂くことをお勧めします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1			悩みなど相談し、助言等して頂け助かっています。	ありがとうございます。 保護者の方にご助言することもありますが、お子さんができるようになったこと等、何うことも私達の励みになります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18		1		問題行動についての話が多い。	ご指摘いただきありがとうございます。その時に出てきた問題行動を正しく共有したい気持ちからお伝えしてしまいました。できたことなども同時に伝えよう心がけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	1	2	3		保護者会は設けておりませんが保護者の方向けの『おしゃべり会』は企画しています。 きょうだいへの支援については今のところ行っておりません。ご了承下さい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		『はっぴい通信』毎月楽しみにしています。	毎回目を通していただき、ありがとうございます。HPにも掲載しておりますが、今後もプリント配布という形で行っていききたいと思います。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		2	当事業所では緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルなどを定めています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1	お子様対象に奇数月に防災訓練や防災についての講話を実施しています。活動記録をご覧ください。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18		1		子供も私も安心しています。体が大きくなり動きたい気持ちも強いので施設内でどう過ごしてよいか困っているようです。	ご意見ありがとうございます。設備環境、療育理念から室内活動が主となっております。ご理解ください。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	1	1	学年が上がるにつれ時間短くはなってしまうが毎回とても楽しみにしています。車から降りない、降所後泣くなど情緒不安定な様子が続いています。	ご意見ありがとうございます。お子様の行動が何に起因しているのか探る必要がありますので、ご相談ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18		1		大満足です。うまく本人が過ごせるようにしたい思いや、私達のニーズに寄りそった話し合いが難しいです。	ご意見ありがとうございます。面談やケース会議を重ねたいと考えておりますが、ハード面でニーズに合わない場合はお子様のためにも、他事業所をご検討ください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	はっぴいチャイルド（放課後等デイサービス）		公表日	令和8年 3月 6日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		月毎に担当者を設け、先月からの引継ぎを受け全員がお子様と関わり把握する	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			建物が古いため段差有り
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		活動ごとに場所を変えたり、個室を使うことで落ち着いて活動できる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		全員で共有・振り返りを行う	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		事業所玄関に掲示	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		全員で話し合い意見を出しやすい環境である	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		今後検討したい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		全員で学ぶ機会、個別で外部研修参加など実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページ掲載、事業所玄関に掲示	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		お子様、保護者様それぞれに聞き取りを実施	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		定期的なアセスメント（年1回）	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		ケース記録での共有	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		個別支援計画立案から聞き取りや計画の分かりやすい説明。サインをしてもらっている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		7		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		7	途中入所などの該当利用者がいない	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		7	該当利用者がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		7		所内での困難事例などは非助言を頂きたいため今後前向きに検討
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			市の意向や地域のニーズ把握、他事業所との情報交換の場として参加したい。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		おしゃべり会での交流	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		活動記録の控えを毎回お渡しして保護者に周知している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		偶数月に職員対象の防災訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		アセスメント時に確認	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7	該当利用者がいない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		すぐに全員で把握・原因と対策を立て再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			